

開催月日 : 平成 25年 12月 17日

第3回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

| | | | |
|---|---|----|-----------------|
| 時間 | am (pm) 6:30 ~ am (pm) 7:30 | 場所 | 千代田区役所4階 401会議室 |
| 司会 | ●●●● | 書記 | 露崎 |
| 出席者 | ○千代田区高齢介護課介護事業指定係: ●●●●様、●●●●様 | | |
| | ○千代田区社会福祉協議会 ちよだ成年後見センター: ●●●●様 | | |
| | ○千代田区高齢者あんしんセンター: 金井英明様(神田地区)、●●●●様(麴町地区) | | |
| | ○医療機関: ●●●●様(千代田区医師会介護保険部理事)、●●●●様(九段坂病院) | | |
| | ●●●●様(三楽病院) | | |
| | ○訪問看護: ●●●●様(アクア訪問看護ステーション・連携) | | |
| | ●●●●様(神田訪問看護ステーション・連携) | | |
| | ○地域住民の代表者: ●●●●様(民生委員) | | |
| | ○知見を有する者: ●●●●様、●●●●様、●●●●様、●●●●様、柳谷ハルミ様 渋谷直子様、●●●●様、●●●●様 | | |
| | ○指定事業者 | | |
| グッドライフケア24: ●●●●、●●●●、●●●●、●●●●、●●●●、●●●● | | | |
| かんだ連雀いつでもサポートサービス: 武田潤一郎、中嶋恵以子、露崎信夫、峯俊美 | | | |
| 会議内容 | ① 開会の挨拶 | | |
| | かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 武田潤一郎 | | |
| | ② 参加者自己紹介 | | |
| | ③ 状況報告 | | |
| | グッドライフケア24 ●●●●看護師 | | |
| | ④ ご利用者情報 | | |
| | グッドライフケア24 ●●●●看護師 | | |
| | ⑥ 事例発表 | | |
| | かんだ連雀いつでもサポートサービス 中嶋恵以子 | | |
| | グッドライフケア24 ●●●● | | |
| ⑦ ご出席者皆様よりご意見 | | | |
| ⑧ 閉会の挨拶 | | | |
| グッドライフケア24 代表取締役 ●●●●様 | | | |

| |
|---|
| <p>① 開会の挨拶（かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 武田潤一郎）</p> <p>本日のご出席の方々に千代田区の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを盛り立てていこうという雰囲気になっている。定期巡回のスタートの初年度ということで、医療連携推進会議の目的を確認し（詳細は別紙①の「目的」の項を参照）、特に初年度は①定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを地域に理解して頂くということに重点を置いて理解を深めて行きたい。</p> |
| <p>② 参加者自己紹介</p> <p>参加者は、別紙①裏面参照。</p> |
| <p>③ 状況報告 ④ ご利用者情報</p> <p>●グッドライフケア24</p> <p>利用者 9名（男性4名、女性5名）</p> <p>要介護度1/4名 要介護度2/2名 要介護度3/1名 要介護度4/1名 要介護度5/1名。</p> <p>訪問看護の利用：2名</p> <p>電話対応：9月/4件（誤報）、10月/3件（排泄介助・話し相手・誤報）、11月/3件（話し相手1件・誤報2件）</p> <p>随時訪問：10月/排泄介助1件</p> |
| <p>⑤ 事例発表 ⑥ ご出席者皆様よりご意見</p> <p>●かんだ連雀いつでもサポートサービスより、ご利用者N様・77歳・女性についての事例報告</p> <p>事例詳細は、別紙②参照。</p> <p>○司会者（グッドライフケア24 ●●管理者）</p> <p>N様が定期巡回に適していると考えるところ、ケアプラン作成時の留意点・課題点、訪問看護との連携助言についての確認あり。</p> <p>○担当ケアマネ 神田居宅介護支援センター 澁谷CM</p> <p>以前は、訪問介護を毎日2回利用して単位数が多かった。本人は自分で生活が出来ているという認識の中でヘルパーの介入があることが理解が出来ていなかった。訪問介護サービスを止めたいと訴えがあった。また、認知症になる前より一人で暮らしていて心身状態（病歴・現症など）や生活状況（食事摂取など）が不明だったが、サービスを導入して把握できた。それら状況を踏まえて援助を検討している。</p> <p>○アセスメントナース クレディ神田訪問看護ステーション●●所長</p> <p>訪看は月1～2回訪問してアセスメントをしている。長い時間の訪問はN様が望まない為に10分程度で行っている。その中で訪問介護より援助経過の連絡を受けて状態の把握をして助言している。</p> <p>●グッドライフケア24より、ご利用者T様・85歳・女性についての事例報告</p> <p>事例詳細は、別紙③参照。</p> <p>ケアプラン作成時の留意点、残された課題（詳細は別紙②の裏面参照）についての確認あり。</p> |

詳細

○担当ケアマネ グッドライフケア24 ●●CM

①娘様より自分の不在時に母に転倒などがあった時の不安があった。サービス導入後は、転倒時など認知症があっても見守りブザーを押すことでヘルパーが訪問することが出来る為に不安が解消された。また、糖尿病の管理やインスリンの自己接種について、娘様の考え方として、糖尿病による食事制限があってもインスリンで調整すれば良いとの見解があり、事業所のインスリン管理に対する援助の捉え方と差異があり、繰り返し話し合いを行った。

○高齢者あんしんセンター神田 金井センター長

糖尿病で血糖値が不安定なご利用者が在宅で生活を継続できる為の援助として意味のあるケースと考える。

○司会者(グッドライフケア24 ●●管理者)

本事例により同様の症状等で入院している方々の退院へのアピールが出来たのではないかと

○九段坂病院 ●●様

主治医がご家族の希望を考慮して治療を行っている。このような援助も有用と考えられる。

○千代田区医師会介護保険部理事 ●●医師

1日4回のインスリン接種の必要について精査が必要である。1日1回のインスリン接種や内服でのコントロールなど簡便さが必要と捉える。主治医と相談して、より現状の在宅療養に則したインスリンコントロールを検討してはどうかとの見解あり。

○三楽病院 ●●様

スライディングスケールを用いたインスリンの自己接種をヘルパーが見守ることは、医療行為に入る場合もあるので、他事業所が同様のことを実施する際、(事業所が)責任を持てるかが問題点としてある。本人やご家族の希望を尊重して相互理解もある中でサービスを提供しているが、事業所としても責任の所在というところでは難しい面もあるのではないかと見解。

○司会者(グッドライフケア24 ●●管理者)・担当ケアマネ グッドライフケア24 ●●CM

他の区の会議の中で本事例を発表した際、ヘルパーがインスリンの自己接種の見守り・確認を行うことはグレーゾーンであるとの話であった。また、当該区に対してヘルパーよりそのような援助を指示されて負担に感じるとクレームがあった。ヘルパーの業務範囲を考慮すると確認が必要である。今後、インスリンの自己接種の見守り(認知症の方など)を必要とする方が増えると予想される中が、保険者や各ケアマネは、どのように考えているか伺いたい。

○すえひろプランニング ●●CMより

他区の事例で滞在型サービスにおいて似たようなケースがあり、その時は特定のヘルパーが対応していたということがあった。

詳細

○クレディ神田訪問看護ステーション ●●●●CMより

類似しているケースに携わったことがあるが、本人・ご家族・主治医など様々な考えがある中で判断して取り組んでいる。その中でも1日4回のインスリン接種は大変なことだと捉える。

○神田居宅介護支援センター 柳谷CMより

インスリンで血糖値を調整している方は、デイサービスやショート・ステイを利用することが難しい。本事例のような方法で在宅生活が継続できるのは素晴らしい。ただ、援助に入るヘルパーを事業者がどのように守るのか、支えるのか。また、ケアマネとして、このような事例の時にどのようにご家族に説明し、どのようにヘルパーらが援助を行うのかを考えながら聞いた。

○高齢者あんしんセンター 麹町 ●●●センター長より

インスリンの自己接種を見守るヘルパーは、どのような時に看護師に報告するのか徹底すれば問題がないのではないかと捉える。今後、このような認知症でインスリンの自己接種が必要な方が増えることが予想される中で定期巡回で細かいアセスメントを行い、ヘルパー・看護師・ケアマネ・主治医で連携して在宅生活が維持できれば、良いサービスになるのではないかと。

○千代田区高齢介護科事業指定係 ●●●係長より

定期巡回サービスの導入前の課題として、本サービスがどこまで医療系のサービスを補えるかということがあった。今後、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスや複合型サービスを在宅サービスの中心として考える中で、保険者として仕組み作りや関係者間での連携を深めていかなければ、医療系サービスを必要としている方の受け入れが出来なくなってしまう。また、ヘルパーによる医療系サービスの行為は、グレーゾーンにある。(介護職員による)痰の吸引等の実施のための研修など東京都で実施しているが、追いついていない状況にあり、区でも研修を実施する可能性があり、そのような形で本サービスの普及を検討している

○●●●民生委員より

本事例のようなケースを区(保険者)は、どのように考えれば解決が図れるのかを踏まえて取り組んで欲しい。今後、認知症が進み手技が困難になる可能性があること、それにより在宅生活が困難になった場合のことも考えてなくてはならないのではないかと。また、家族の協力が不可欠なものであるとの意見あり。

●各事業所の管理者の変更について

平成25年10月1日より、かんだ連雀いつでもサポートサービスの管理者が武田潤一郎より中嶋恵以子に変更なる。平成26年1月より、グッドライフケア24の管理者が●●●●から●●●●に変更になる。

⑦ 閉会の挨拶 (グッドライフケア24 代表取締役)

在宅サービスの質と量をどのように確保するのか、在宅介護生活の限界を高められるかが課題である。今後、地域で密着してこのサービスを展開していくには、皆様との連携が必要である。

次回開催：第4回 平成26年3月13日18:30～

以上